

植物多様性センターの「ヒメカンスゲ」

学習園の雑木林でヒメカンスゲが咲きだしました。関東では最も早く咲くスゲのひとつです。スゲ類は同定の難しいものが多いですが、ヒメカンスゲは常緑で花茎の苞の鞘がだんだら模様で、見分けやすいのでスゲ入門としておすすめです。園内には自生と植栽を含め、およそ20種ほどのスゲがあります。これから順番に咲き出しますので、じっくり観察してみてください。



林床のヒメカンスゲ：頂生する雄小穂と側生する雌小穂



開花前の雄小穂：黒褐色の雄鱗片に覆われてこん棒状



雄花の開花：雄鱗片から黄白色の3本の雄しべを吊り下げる



雌花の開花：柱頭3岐(円内) 花茎の苞の鞘は褐色(矢印)